



うま
～美し国三重から、ろうあ仲間の和と絆を笑顔で結び、つなげよう！～

第52回全国ろうあ女性集会

速報 13 号



2022年9月30日(金)～10月2日(日) 主催:一般財団法人全日本ろうあ連盟女性部/主管:一般社団法人三重県聴覚障害者協会女性部

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 (一社) 三重県聴覚障害者協会気付

TEL 059-229-8540 FAX 059-223-4330 E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

10月2日発行

開会式典



440人を超える参加者を迎え、
いよいよ大会スタート！
主催をはじめ、来賓の方々より
ご挨拶をいただきました。



一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事
吉野 幸代 氏



一般財団法人全日本ろうあ連盟女性部長
佐々木 柄理子 氏



三重県副知事
服部 浩 氏



伊勢市長
鈴木 健一 氏



開会式典の様子



助言者・座長紹介

第1分科会「家庭と教育」

テーマ「ろう学校、家庭でのコミュニケーション」

参加者
45名



助言者 佐藤 俊通 氏（三重県手話通訳問題研究会会長）
座 長 平井 壽子 （常任委員）
辻 恵子 （近畿ブロック 全国委員）

① 若い世代の指文字が多い件について

どこから原因が来てるか探してみたら、家庭で親子の会話で手話を使わない事が分かった。ろう学校の先生が手話ができないのも大きな問題点。

② ろうの親で、子供がコーダ⇒音読の宿題の問題があった。ほとんどは、ろうの親が目をつむっていたり、ほかの人をお願いしてたりしているのが多かったが、しっかり学校の先生と話し合って学校の先生が放課後に残って音読を引き受けてくれた。

⇒ろう者として大事なポイントである事に気づきがあった。

③ 人工内耳で、学校の先生が悩んでいて、先生としては手話を覚えたのに、親は人工内耳で子供に音声で話してほしいということがあり、板ばさみで困る。

④ 聞こえない子供を持つ親、聞こえない夫婦（子持ち）もぜひ参加できたら、より良かったと思う。

課題⇒いつでもどこでも誰でも手話を作る環境が必要。コミュニケーションが大事！

<発表者>

辻 恵子 （全国委員）

佐藤 悠里 （岐阜県）



神奈川県・立花



講師の話がとても良かった。経験できて良かった。

岐阜県・杉山



ろう教育の変換を知る機会ができてよかった。
これからのろう教育の発展を期待している。

岐阜県・杉山

佐藤さんが息子のために手話を覚えたのだすごいと思った。もっと佐藤さんの話を聴きたい。

